

2度の移植で4つの腎臓を持つ
おしゃべりで冗談好き。
常に明るく楽しくがモットーの
笑顔の素敵な東海村の職員さん



高橋毅さん

2度も移植。2人から腎臓を貰えるなんてよほどの
悪運?!

185cmの長身の高橋毅さんは明るくポジティブ。高校時代、IgA腎症を指摘されたものの放置してアメリカへ。帰国後半年で緊急透析、その後、お父さんからの提供で腎移植をし、就職、結婚と健常者と変わらない日々を送ることができました。ところが東日本大震災での激務がたたって再び透析、奥様の純子さんからの腎移植で4年目をむかえ、多くの人たちへの感謝の気持ちを話してくれました。

インタビュー 松村 満美子

緊急透析…でも父親から提供を受け腎移植

松村 2回移植をなさったそうですが、どなたから？

高橋 最初は親父からで、2回目は妻からもらいました。
もとの病気はなんですか？

高校2年のとき血尿がでて、水戸の病院で診てもらいIgA腎症だといわれました。背が高いですが、そのときは成長は終わっていたんですか。

当時はまだ180cmくらいで、今は185cmあります。

それから5cmも伸びたんですね、それはすごい。食事療法など治療をしたんですか？

特に治療はしませんでした。その後、大学受験で志望校に入れなかったのも、アメリカで働きたいと思って、両親の反対を押し切ってサンフランシスコに行きました。腎臓のことは気にせず、不摂生な生活をしてましたね。

アメリカではどんな仕事を？

英語も話せなかったのも、まず2年制の大学に行って、卒業してから日本人旅行者の添乗をしていました。

いつ日本に戻ったのですか？

25歳のときです。アメリカでコーヒービジネスに興味を持って、当時はコーヒーのチェーン店などは日本にはなかったのも、これはイケルと思い、帰国してコーヒー関係の会社に就職しました。でも半年も経たず具合が悪くなって、水戸の赤十字病院に行ったら透析だといわれました。クレアチニンはどのくらいだったんですか？

12とかで、すぐ入院です。それは大変、普通は8から透析ですよ。じゃ、首元に針

高橋 毅 さん

1971年9月生まれ。45才。役場職員。高校2年で血尿からIgA腎症と診断されるが治療はせずに20歳で渡米。サンフランシスコで2年制大学を卒業し現地で添乗員として働く。25才で帰国後すぐに体調悪化のため緊急透析導入。26才で父親から提供を受け腎移植。30才で結婚し娘2人。38才でIgA腎症再発のため39才で透析再導入。41才で妻より提供を受け2度めの腎移植。

を刺す緊急透析ですか？

はい、でも当初は自覚症状もなかったのが急性的かもしれないと入院して様子をみました。

若いから、そのまま治るかもしれないと思ったんですね。

透析をしたらクレアチニンは下がりましたが、8くらいまでで、慢性化してるから透析を継続しないといけないとシャントを作りました。

どのくらい入院しましたか？

2〜3ヶ月です。そのとき担当してくれた滝田節先生が、「まだ若いし移植を考えないか」と、筑波大を紹介してくれたんです。

移植は考えていたのですか？

まったくイメージがありませんでしたから先生から提案してもらい良かったです。親父もどうかして助けてやりたいと思ったみたいで。

移植は順調だったんですね。

親父とは適合性がよく、手術も順調で、麻酔が覚めたときには、つながっている管におしっこもいっぱい出ていて、特に拒絶反応もありませんでした。

血液透析で無尿にはならなかったんですね。

まだ少し残ってました。

医師の提案で 夫婦間で再移植を

仕事はどうしたんですか？

帰国して就職した会社は辞めたので、自営業でも始めようか悩んでいるときに東海村役場の職員募集があり、とりあえず受けてみたら、たまたま拾ってもらえたんです。

ラッキーでしたね。身障者枠ですか？

そうです。

その後、奥様に出会って結婚なさったんですね。

はい、友達の紹介で。

奥様は移植したことはご存じだったんですか？

純子 はい、私は気にしてましたが、結婚話がでたときには親は心配しましたね。

どうやって説得したんですか？

すごく反対されたわけではないんです。とても元気で病人には見えませんでしたから。移植をしてらしたからでしょうね。結婚後も順調で？

二人の娘に恵まれ、特に気にすることもなく普通に生活して経過もよかったんですけど、だんだんと調子が悪くなって、腎生検をしたら移植した腎にIgA腎症が再発して

いて、食事療法を始めました。

食事は奥様が？

ええ、でもそんなに厳しくなく、ちょっと塩分を控えるとか、低タンパク米を週に何回かといったぐらいでした。

それが急に悪くなったのは？

2011年に東日本大震災が発生して、役場の職員なので避難所の対応などで家に帰れない日が続きました。食事や水分の調整ができなくて、1ヶ月で急激に悪化して、また透析に戻るようになってしまいました。

大変でしたね。お父様の腎臓は何年くらい保ったんですか？

14年です。

透析に戻るときはどんな気持ちでした？

透析は前に経験しているので心配はしませんでした。今度は妻子がいるので悩みました。事務職なので透析をしながらでも働けましたが、やはり体はきつかったです。

夜間透析ですか？

火木土の夕方6時から4時間透析でした。

奥様も大変でしたね。

夕飯は透析施設にお願いしていたので食事は大変ではなかったのですが、毎朝、元気に起きてくるかな？と心配し





ました。具合が悪いと怒りっぽくなって、子供たちも主人の顔色をうかがうようになってしまいました。

それで再移植を考えるようになったんですか？

このときも先生のほうから提案してくれたんです。

滝田先生ですか？

水戸医療センターの湯沢賢治先生です。「今は夫婦間というのもできるから」といつてくださって、血液型は妻がO型で私はA型だったんですが、親子並みに適合性がよく、20万分の1とかで、トントン拍子に進みました

奥様はすぐOKしたんですか？

はい、私は問題ありませんでした。でも手術で入院したとき同じ病室のほとんどの人が「ぜったい旦那になんかあげない」っていっていました。

奥様のご両親はなんと？

結婚してくれただけでもありがたいのに、本当に申し訳なくて…そしたら「夫婦だから当然だろ」っていってくれ、入院中は子どもたちの面倒も見てくれました。

素晴らしいご両親ですね。手術後は順調に？

はい、次の日には食欲がでるくらい順調でした。

私は麻酔が合わなかったみたいで、吐き気で食べれなかったのに、「ご主人はもりもり食べてるわよ」といわれ、「何を！人が苦しんでいるのに」と…

奥様の後遺症とかは？

じんましんがでたりしましたが、すぐ治まりました。お腹に小さな穴を開け腎臓を取り出したので、傷跡も気になりません。

明るく楽しいから人が助けてくれる

お二人とも明るくて、大変なことも切り抜けるんですね。

笑っている方が安心できるんです。でもやはり2回の透析の時期は辛かったです。医療福祉の制度を受けたり障害者手帳をもらったり、それまでは

自信满满で強気に生きてきたのが、「俺は人の助けを借りないと生きられない」と落ち込みはひどかったですね。

どうやって立ち直ったんですか。

性格も変わって、仲良かった友達が「ツヨシやばいぞ」と心配してくれました。みな仕事もあり忙しかったでしょうが、毎日、誰かが病院に来てくれました。友達がいつも気を紛らわしてくれているうちに移植の話が進んで、また元気になりました。

お友達に恵まれたんですね。

そうですね。それに2度も移植できるなんて思ってもいませんでした。私はよっぽど悪運が強いんですね（笑い）。**高橋さんがポジティブだから、周りの方に助けられ物事がうまく進むのかもしれないね。**

滝田先生や湯沢先生に巡り会えたのもラッキーでした。今では看護師さんとも仲良くしてもらって、なにかあるとメールですぐに助言してくれるので、いつも安心していられて、ありがたいです。

明るさは人を招くですね。

インタビューを終えて・・・・・・・・・・

2回も移植をしている方にお会いするのは始めてでした。お父様が右側、奥様が左側と、自分の腎臓もいれて4つもお腹に入っているそうです。お二人の明るさからか時間が経つのも忘れて楽しく話を伺いました。アメリカにもお友達がたくさんいて、毎年のように家族旅行を楽しんでいるとのこと。医師や家族だけでなく多くのお友達に助けられているのも、明るく前向きだからですね。いただいた奥様の腎臓を大切に、ご家族のため、地域住民のために、ますます頑張ってくださいね。

